

パラアスリート講師と 「合理的配慮」 を考える

障害者差別解消法の改正に伴い、2024年4月より事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されます。

企業、社会、そして私たち一人ひとりはどう取り組めばよいのか、日本財団パラスポーツサポートセンター（パラサポ）の教育・研修プログラム「あすチャレ！」ディレクター山本恵理氏に話を聞きました。

★ お話をうかがった方 ★

山本恵理さん



障がいとは何か。捉え方で変わる合理的配慮

今まで事業者に対して努力義務だった「合理的配慮」が、法的義務化されることは、誰もが選択肢を持てる社会への大きな一歩です。ただ、義務になったから“やらなければならない”と独り合点で取り組むのでは本末転倒。合理的配慮の対象者は障がいのある人と定められていますが、そもそも障がいのある人はどんな人でしょうか。パラサポが提供している「あすチャレ！ Academy」の中で詳しくお伝えしていますが、私を感じている障がいとは、足が動かないことや車いすに乗っていることだけではないのです。むしろ、足が動かないのは、車いすで解消しどこでも移動できるようになっていますが、**歩く人目線で作られた世の中で『選択肢』が狭まる**ことが一番の障がいだと捉えています。

大切なのは双方向のコミュニケーション

そのような選択肢の少なさを解消しようとして「合理的配慮の提供をしなれば！」と取り組んでもらえる方がたくさん増えると思うのですが、当事者とのコミュニケーションを取らずに、困っている状況を想像し、先回りして対処を考えると、うまくいかないというケースがよくあります。企業から障がい者雇用に関する相談を受けることもあります。皆さんが心配されるのはハード面。でも、同じ車いすユーザーだとしても、性格もスキルもキャ

リアプランも異なりますよね？ 面接時には「目の前の人が自分の会社にどれくらい情熱をもっていか見極めてください」と提案しています。ただ、車いすだから、障がいがあるから、障害者手帳があるからだけで雇用するより、個人として向き合い、それぞれが実力を発揮できる環境を作らなくてはならないのは、障がい者雇用に限った話ではありません。相手の意見を聞き、相手の立場になって考えるという**ソフト面の工夫**だけでも大きなサポートに繋がることがあります。

「知る」ことから始めてみる

「あすチャレ！ Academy」では、まずは障がい当事者講師とのコミュニケーションを通して「障がい」とは、「ちがい」とはを知り、共生社会について自分の頭で考えるきっかけを提供しています。無理して理解したふりをするのではなく、存在を知る、ちがいがあることを知る、考え方を**知る**、と徐々に自分の中で深めていく。実感し、自分の頭で考えることが、先入観や思い込みを取り除くマインドセットとしても有効だと思います。



なぜ、パラアスリートが講師なの？

パラアスリートは、「できない」ことに直面しても、あきらめずに、工夫して、チャレンジすれば「できる」ようになることをたくさん経験しています。そしてパラスポーツには、あらゆる人が公平にプレーできるように工夫されたルールがあります。競技経験、障がいも様々な80人以上の講師のそれぞれのストーリーが心をうごかし、「目からウロコ」の気づきを提供できるのです。

2024年4月
から事業者に
提供義務化

知りたい、理解したいという事業者のニーズが高まる

あすチャレ! Academy

合理的配慮編

参加者コメント

「合理的配慮に身構えすぎていたことに気がついた」「具体的な事例がありイメージしやすく、分かりやすい」「『合理的配慮なんて聞かなくてもわかるよ』という考えが打ち砕かれました」「合理的配慮の考え方や、言葉のかけ方など、分かっているようで分かっていなかったモヤモヤしていた疑問が明確になった」

「言ってはいけないことってありますか」「言われたくないことって何ですか」「してはいけないことってありますか」「されたくないことって何ですか」これは「あすチャレ! Academy」合理的配慮編の参加者からよくある質問です。

“義務化”“合理的配慮”——実際に何をしたらよいか、どうしたらよいか、悩む事業者を中心に、

パラサリート講師の体験談も交え、ワークショップ形式で合理的配慮の本質を考えます。受講後は合理的配慮とは何をすればよいのか、自身のおかれている環境で考えることができるようになる研修プログラム。身構え過ぎなくて良いという安心感を得る一方で、明日からチャレンジしていく課題を見つけることができます。



パラサポでは、スポーツを通じて社会を変えるプログラムとして、パラサリート講師たちによる教育・研修プログラム「あすチャレ!」を全国で実施、2023年度は878回開催しました。

今回紹介した研修プログラム「あすチャレ! Academy」は、2016年10月に始まり、パラサリート講師から聞くオンリーワンの体験談が、障がいや多様性の理解、D&I、SDGs、製品・サービスの向上、障がい者雇用促進など様々な課題に取り組むためのヒントとなるという声が届き、満足度は94.7%（2023年度調査）。講師と受講者との対話も大切にし、社内研修や勉強会や新人研修などに使われております。活用する場面に合わせ、今回特集した「合理的配慮編」だけでなく「コミュニケーション編」「カスタムメイド」、こどもと一緒に視野を広げる「ファミリーアカデミー」の4つから最適なプランを選べます。

コミュニケーション編



参加者コメント

「困っている人がいたら声を掛けることで、様々な可能性が広がると分かった」「普段自分の視点でしか物事を見ていなかったと気づくことができた」

障がい者のリアルに触れ、コミュニケーション方法やサポート方法を学ぶプログラム。講師の話からパラスポーツや障がいについて知り、実際に視覚、聴覚、車いすなど、各種障がいに合わせたサポート方法やコミュニケーションの取り方を学びます。



カスタムメイド



参加者コメント

『お客様対応の多様化』にも通じ、自分にとって意義のある内容だった」「大きな投資をしなくても、工夫してできることがあると知った」

社内にD&Iを広げていきたい企業・団体様向けプログラム。時間、内容、受講者の人数をカスタマイズが可能。社内の課題、自社が提供するサービスのヒアリング、事前調査を経た上で、最も社内に浸透しやすい形式、内容の研修を作成します。



2024年度「あすチャレ!」プログラム協賛社

GOLD PARTNER
OFFICIAL PARTNER

株式会社JTB、株式会社ブリヂストン
日本電気株式会社(NEC)、中外製薬株式会社、日本航空株式会社(JAL)、株式会社アシックス

これまでに「あすチャレ! Academy」を導入した
企業、団体、自治体、大学の
実績、事例もぜひご覧ください



団体名:公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター(パラサポ)
所在地:〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階
設立:2015年5月15日
パラサポ公式サイト:<http://www.parasapo.or.jp/>

【報道関係者からの問い合わせ先】
パラサポ広報部
TEL:03-6229-3721(代表) FAX:03-6229-3722
Mail:pr@parasapo.tokyo